

夏秋ギク型輪ギク新品種の開花特性

佐々木 厚*・本多めぐみ・石井友紀子・鈴木誠一

(*宮城県農産園芸環境課・宮城県農業・園芸総合研究所)

Flowering Characteristic of New Summer-to-Autumn Flowering Standard Type Chrysanthemum Variety

Atsushi SASAKI *,Megumi HONDA,Yukiko ISHII and Seiichi SUZUKI

(* Miyagi Prefectural Agricultural Products and Horticulture Environment Division,

Miyagi Prefectural Agriculture and Horticulture Research Center)

1 はじめに

宮城県内の輪ギク主力産地では、低コスト生産可能な夏秋ギク型輪ギクの新品種の導入がなされようとしている。そこで、それら品種の開花調節方法を検討するため、エテホン反応特性や電照反応特性を調べた。

2 試験方法

(1) 供試材料

供試品種：「金の香」、「浜金時」、「金の恵」

対照品種：8月開花作型 「スーパーイエロー」、
9月開花作型 「深志の匠」

(2) エテホン反応試験

1) 圃場条件 農園研露地圃場

2) 試験区別

8月開花作型		9月開花作型	
エテホン処理		エテホン処理	
なし	なし	なし	なし
1回 4/27	1回 6/ 1	2回 6/ 1, 6/14	3回 6/ 1, 6/14, 6/28
2回 4/27, 5/11	2回 6/ 1, 6/14	3回 6/ 1, 6/14, 6/28	
3回 4/27, 5/11, 5/24	3回 6/ 1, 6/14, 6/28		

「エスレール10」を500倍の濃度で、1茎当たり2ml処理

3) 供試本数 各品種、各区とも20株

4) 耕種概要

8月開花作型 挿し芽：2007年4月5日、定植：4月20日、摘心：4月27日

9月開花作型 挿し芽：2007年5月11日、定植：5月25日、摘心：6月1日

施肥：a 当たりN成分量で基肥 1.5kg、追肥 1.0kg

(3) 電照反応試験

1) 圃場条件 農園研圃場鉄骨ハウス

2) 試験区別 電照4時間 (22:00～2:00)

電照5時間 (21:30～2:30)

電照なし

電照は電照電球を高さ1.7m、8㎡に1灯の割合で設置。

3) 供試本数 各品種、各区とも16株以上

4) 耕種概要

8月開花作型 挿し芽：2007年4月23日、定植：5月9日、消灯：6月18日

9月開花作型 挿し芽：2007年5月31日、定植：6月15日、消灯：7月27日

施肥：a 当たりN成分量で基肥 1.5kg、追肥 1.0kg

3 試験結果及び考察

(1) エテホン反応試験

1) 8月開花作型の「金の香」について、エテホン処理なし区の開花期は7月中旬であり、エテホン処理回数が多いほど開花は遅れた。エテホン3回処理区で8月盆の需要期開花となり、切花長は対照品種と比較して長く、芽なし度は3で高かった。「浜金時」について、エテホン処理なし区の開花期は8月上旬であり、エテホンを処理しなくても需要期開花が可能であった。切花長は対照品種と比較して長かったが、芽なし度は対照品種同様1で低かった。「金の恵」について、エテホン処理なし区の開花期は7月下旬であり、エテホン処理回数が多いほど開花は遅れた。エテホン2回処理区で8月盆の需要期開花となり、切花長は対照品種と比較して長く、芽なし度は3で高かった(表1)。

2) 9月開花作型の「金の香」、「浜金時」、「金の恵」について、エテホン処理回数が多いほど開花は遅れたが、

3 回処理区においても需要期以前の開花となった。したがって、この3品種の露地9月開花作型ではエテホンによる開花調節が難しいことがわかった(表2)。

(2) 電照反応試験

1) 8月開花作型の「金の香」について、電照なし区の開花期は7月下旬であった。電照4時間区、5時間区で8月盆の需要期開花となり、切花長は対照品種と同等であり芽なし度は3で高かった。「浜金時」について、電照なし区の開花期は8月盆の需要期であった。切花長は対照品種と同等であったが、芽なし度は1で低かった。「金の恵」について、電照4時間、5時間区で8月盆の需要期開花となった。切花長は対照品種と同等であり芽なし度は3で高かった(表3)。

2) 9月開花作型の「金の香」について、電照なし区の開花期は8月下旬であった。電照4時間区、5時間区で9月彼岸の需要期開花となった。芽なし度は対照品種同様3で高かった。「浜金時」について、いずれの区でも開花期は9月彼岸の需要期であった。切花長は対照品種と比較して短いか同等であったが、芽なし度は対照品種同様3で高かった。「金の恵」について、電照なし区は8月下旬の需要期の前に開花したが、電照4時間、5時間区で9月彼岸の需要期開花となった。切花長は対照品種と同等であり、芽なし度は3で高かった(表4)。

4 ま と め

露地栽培での8月開花作型において、「金の香」では3回、「金の恵」では2回エテホン処理を行うと需要期開花が可能であり、切花長も長く、芽なし度は3で高かった。「浜金時」では無処理で需要期開花が可能であったものの、芽なし度が1で低かった。また9月開花作型では、3品種ともエテホン処理による需要期開花は難しかった。また施設栽培における電照反応特性を調べた結果、8月開花作型において「金の香」、「金の恵」では電照を4時間行い、6月18日に消灯すると需要期開花が可能であり、切花長も対照品種と比較して同等であり、芽なし度は3で高かった。9月開花作型において、「金の香」、「金の恵」では電照を4時間行い、7月27日に消灯すると需要期開花が可能であった。「浜金時」では、無処理で需要期開花が可能であったものの、切花長は対照品

種と比較して短いか同等であり、芽なし度は対照品種同様3で高かった。

表1 夏秋ギク型輪ギクの露地8月開花作型におけるエテホン反応特性(2007年)

供試材料	エテホン 処理	開 花		切り花品質		芽なし度
		盛 期 (月/日)	需要期 開花	切花長 (cm)	切花重 (g)	
(供試品種)						
金の香	なし	7/15		86	58	3
	1回	7/23		90	67	3
	2回	8/ 1		95	76	3
	3回	8/10	○	101	85	3
浜金時	なし	8/10	○	98	64	1
	1回	8/12	○	99	66	1
	2回	8/16		105	70	1
	3回	8/20		110	73	1
金の恵	なし	7/30		100	75	3
	1回	8/ 4		108	77	3
	2回	8/10	○	112	80	3
	3回	8/16		117	83	3
(対照品種)						
スーパーイエロー	なし	7/21		76	62	1
	1回	7/28		85	70	1
	2回	8/ 6	○	90	73	1
	3回	8/14		99	78	1

注) 開花盛期は50%開花時とし、8月5~12日に開花したものを需要期開花とした。芽なし度は、側芽の発生が1~2本程度を4、3~10本程度を3、上部から1/3程度までを2、それ以上を1とした。

表2 夏秋ギク型輪ギクの露地9月開花作型におけるエテホン反応特性(2007年)

供試材料	エテホン 処理	開 花		切り花品質		芽なし度
		盛 期 (月/日)	需要期 開花	切花長 (cm)	切花重 (g)	
(供試品種)						
金の香	なし	8/ 7		73	35	3
	1回	8/10		78	37	3
	2回	8/15		81	43	3
	3回	8/22		85	49	3
浜金時	なし	8/23		73	43	2
	1回	8/26		78	47	2
	2回	8/29		85	50	2
	3回	9/ 5		90	52	2
金の恵	なし	8/10		72	38	3
	1回	8/14		79	41	3
	2回	8/20		86	46	3
	3回	8/29		90	55	3
(対照品種)						
深志の匠	なし	9/10	○	90	81	2
	1回	9/14	○	93	85	2
	2回	9/17	○	96	88	2
	3回	9/20		102	90	2

注) 9月10~19日に開花したものを需要期開花とした。その他は表1に同じ。

表3 夏秋ギク型輪ギクの施設8月開花作型における電照反応特性(2007年)

供試材料	電照	開 花		切り花品質		芽なし度	
		盛 期 (月/日)	到花日数 (日)	需要期 開花	切花長 (cm)		切花重 (g)
(供試品種)							
金の香	なし	7/23	35		106	70	3
	4時間	8/ 6	49	○	135	83	3
	5時間	8/ 6	49	○	136	85	3
浜金時	なし	8/10	53	○	135	90	1
	4時間	8/12	55	○	135	92	1
	5時間	8/12	55	○	136	93	1
金の恵	なし	8/ 2	45		123	72	3
	4時間	8/10	53	○	146	84	3
	5時間	8/10	53	○	148	88	3
(対照品種)							
スーパーイエロー	なし	8/ 2	45		115	77	1
	4時間	8/12	55	○	145	94	1
	5時間	8/12	55	○	148	96	1

注) 開花盛期は50%開花時とし、消灯時から開花盛期までを到花日数とした。8月5~12日に開花したものを需要期開花とした。その他は表1に同じ。

表4 夏秋ギク型輪ギクの施設9月開花作型における電照反応特性(2007年)

供試材料	電照	開 花		切り花品質		芽なし度	
		盛 期 (月/日)	到花日数 (日)	需要期 開花	切花長 (cm)		切花重 (g)
(供試品種)							
金の香	なし	8/28	32		92	84	3
	4時間	9/14	49	○	115	100	3
	5時間	9/14	49	○	117	115	3
浜金時	なし	9/10	45	○	88	54	3
	4時間	9/18	53	○	115	72	3
	5時間	9/18	53	○	118	74	3
金の恵	なし	8/31	35		90	74	3
	4時間	9/10	45	○	115	90	3
	5時間	9/10	45	○	117	95	3
(対照品種)							
深志の匠	なし	9/23	58		112	107	3
	4時間	10/2	67		135	117	3
	5時間	10/2	67		138	121	3

注) 9月10~19日に開花したものを需要期開花とした。その他は表1に同じ。